

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-179	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183・第一	保体・901 保体・902	高等学校 改訂版 保健体育 Textbook 高等学校 改訂版 保健体育 Activity		

1. 編修の基本方針

- ①「Textbook」「Activity」の2分冊で構成し、特に「Activity」において主体的な学習に取り組むための素材を多く用意し、運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考すること、判断すること、他社に伝える力の育成を図れるように配慮した。
- ②「Textbook」では、1つの学習項目を見開き構成でまとめ、各項の冒頭に、学習のねらいを「クエスチョン」として端的に示すとともに、それに対応するものとして、各項の最後に「リフレクション」を設け、学習の要点を把握しやすくすることで、個人が自主的にその能力を伸ばすことができるよう配慮した。
- ③基礎・基本となる学習内容を重視し、記述内容を精選した。また、生徒にとって学習内容が理解しやすくなるよう、できるだけ平易な記述とし、図版や写真による視覚的な補足をした。
- ④「Textbook」では、「ケーススタディ」を設け、本文内容の理解を一層深めるとともに、健康生活や生涯スポーツの践力を高めるための話し合いの手法の指針を示し、実践できるように配慮した。
- ⑤「Textbook」では、随所に「ピクチャースタディ」を設け、本文内容の理解を深めたり、学習への興味・関心を高めたりするような内容を扱うことにより、幅広い教養を身につけることができるよう配慮した。
- ⑥保健体育に関する職業について、前見返しや「キャリアインタビュー」で多く取り上げ、学習内容と将来を結び付けて考えられるよう配慮した。
- ⑦「Activity」では、さまざまな話し合いの手法、発表の手法を紹介し、主体的に課題の発見や問題解決に取り組むことができるよう配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 現代社会と健康	・健やかな身体を養ううえで必要な、生活習慣や感染症などの幅広い知識と教養を身につけ、多角的な考察ができるよう配慮した(第1号)。	(Textbook)p.6 ～ 33, (Activity) p.4～7
第2章 安全な社会生活	・安全な社会の形成のために、公共の精神に基づいて主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫した(第3号)。	(Textbook)p.48 ～ 51, (Activity) p.10～13
第3章 生涯を通じる健康	・思春期の心と体の成長を通して、男女の違いについて幅広い知識と教養を身につけるとともに、お互いについて思いやる豊かな情操と道徳心を培えるよう配慮した(第1号)。 ・妊娠から出産の過程を知り、生命を尊ぶ態度を養えるよう留意した(第4号)。 ・豊富な人生経験と知識によって社会を支える高齢者の存在を通して、生涯を通じて個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主自律の精神を養うとともに、勤労を重んずる態度を養えるよう工夫した(第2号)。 ・労働は豊かな社会づくりの基礎になるだけでなく、個人にとっても自己実現をはかることができることを取り上げ、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養	(Textbook)p.64 ～ 67 (Textbook)p.70 ～ 73, (Activity) p.16～19 (Textbook)p.76 ～ 77 (Textbook)p.78 ～ 83, (Activity) p.20～23

	えるよう留意した（第2号）。	
第4章 健康を支える環境づくり	・環境汚染と健康被害の関係についての学習を通して、環境についての幅広い知識と教養を身につけ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、健やかな身体を養えるよう工夫した（第1号・第4号）。 ・消費者として、食の安全性に関して私たちに求められる役割について取り上げ、主体的に社会の形成に参画するような態度を養えるよう配慮した（第3号）。 ・わが国の保健・医療制度について、その仕組みと精神などに触れ、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画するような態度を養えるよう配慮した（第3号）。 ・世界で行われている保健活動やSDGsの学習を通じて、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう留意した（第5号） ・健康の保持・増進のための重要な要素となる自然環境について取り上げ、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう留意した（第4号）。	(Textbook)p.88 ～ 97, (Activity) p.26 ～29 (Textbook)p.100 ～ 101 (Textbook)p.102 ～ 109 (Textbook)p.110 ～ 111, p.114～115, (Activity) p.30～33 (Textbook)p.112 ～ 113
第5章 スポーツの文化的特性と現代スポーツの発展	・世界やわが国におけるスポーツの歴史や文化に対する幅広い知識と教養を身につけるとともに、国際社会の平和と発展に寄与しようとするオリンピックムーブメントなどを学ぶことで、多角的な考察ができるよう配慮した（第1号・第5号）。 ・オリンピックムーブメントを取り上げ、自他の敬愛と協力を重んずる精神を養えるよう留意した（第3号）。	(Textbook)p.124 ～ 127, (Activity) p.36 ～39 (Textbook)p.126 ～ 127
第6章 運動やスポーツの効果的な学習方法	・運動技能の学び方について、自分に合った方法を考える場面を設け、個人の価値を尊重して、その能力をのばし、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮した（第2号）。 ・自分の体力の把握方法や体力の高め方を取り上げ、健やかな身体を養えるように留意した（第1号）。	(Textbook)p.140 ～ 143 (Textbook)p.146 ～ 147, (Activity) p.42 ～45
第7章 豊かなスポーツライフの設計	・健やかな身体を養うためにスポーツの楽しみ方を取り上げ、生涯にわたるスポーツへの取り組みの重要性が実感できるよう配慮した（第1号）。 ・スポーツでのPDCAサイクルを取り上げ、個人の能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養えるように留意した（第2号）。 ・総合型地域スポーツクラブやスポーツボランティアなどを取り上げ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう留意した（第3号）。 ・将来にわたってスポーツを楽しむために現在行われている対策などを学ぶことを通して、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫した（第4号）。	(Textbook)p.156 ～ 157, (Activity) p.48 ～51, p.52～56 (Textbook)p.158 ～ 159, (Activity) p.52 ～56 (Textbook)p.160 ～ 161, (Activity) p.52 ～56 (Textbook)p.162 ～ 163, (Activity) p.52 ～56
3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色		
・学校教育法第51条1号「国家及び社会の形成者として必要な資質を養うこと」、また、第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」等の規定を踏まえ、私たちの暮らす社会や生活は、さまざまな法律によって成り立っていることが実感できるよう、随所にさまざまな法律を取り上げた。 ・読みにくい漢字には積極的にルビを添え、一般的な教養も身に付くよう配慮した。		

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-179	高等学校	保健体育	保健体育	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183・第一	保体・901 保体・902	高等学校 改訂版 保健体育 Textbook 高等学校 改訂版 保健体育 Activity		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた思考・判断力や、他者に伝える力を養えるようにした。
 - Textbook と Activity の2分冊構成とし、学習内容の定着を図るとともに、実践的な学習をできるようにし、主体的・対話的で深い学びに十分対応できるようにした。
 - Textbook の各項において、「トライ」や「グループワーク」を設置し、健康課題などを解決するための意思決定や行動選択のあり方について、考えながら学ぶことができるよう配慮した。
 - 「ケーススタディ」を要所に設け、学習内容を深め、積極的に自らの健康増進や豊かなスポーツライフの継続をはかるための態度を養うことができるようにした。
 - Activity の「テーマ学習」では、ブレインストーミングやプレゼンテーション、ポスター発表、レポート作成などの学習形態を取り入れた。
- 基礎的・基本的な事項を重視し、ビジュアルな紙面で保健体育に対する興味・関心を喚起できるようにした。
 - Textbook は見開き（左頁と右頁）完結の紙面構成を基本とし、授業展開のまとまりをつけた。
 - 各項において、冒頭で学習のテーマ2つを「クエスチョン」として明確に示し、本文で2つのテーマを展開し、最後に「リフレクション」を設置して学習内容を振り返ることができるようにした。
 - 基本的な学習内容を重視し、平易でわかりやすく記述した。また、重要な学習内容や事項については、横注や用語解説で丁寧に解説した。
 - 随所に「ピクチャースタディ」を設けて鮮明な写真を豊富に掲載したり、大判の紙面を生かしてイラストや写真を大きく取り上げたりしてダイナミックでビジュアルな紙面を構築し、視覚に訴えて保健体育に対する興味関心を喚起できるようにした。
- 実生活の中での健康や運動について意識できるよう、身近な題材を豊富に取り上げた。
 - 随所に「トピック」を取り入れて、興味・関心づけをはかるようにした。
 - 保健体育に関係する職業について、前見返しや随所に設けた「キャリアインタビュー」で取り上げることによって、学習内容と将来を結び付けて考えられるようにした。
- 心身の健康の保持・増進をはかるために必要な、知識と技能を習得できるようにした。
 - 個人の健康を害するさまざまなリスクや、心身の健康の保持・増進をはかるための対策と並んで、社会全体での、保健・医療制度の充実や自然環境の保護に向けた対策などの取り組みが重要であることを教科書全体にわたって取り上げた。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 現代社会と健康			2
第1節 健康の考え方	保健 (1)－ア－(ア)	(Textbook)p. 6～9	
第2節 現代の感染症とその予防	保健 (1)－ア－(イ)	(Textbook)p. 10～ 11, 14～15	4

ケーススタディ 医学が進歩しても感染症が消滅しないのはなぜだろうか？	保健 (1)ーイ	(Textbook)p. 12～13	
第3節 生活習慣病などの予防と回復	保健 (1)ーア－(ウ)	(Textbook)p. 16～25	5
第4節 喫煙，飲酒，薬物乱用と健康	保健 (1)ーア－(エ)	(Textbook)p. 26～29, 32～33	8
ケーススタディ なぜ，飲酒や喫煙を禁止しないのだろうか？	保健 (1)ーイ	(Textbook)p. 30～31	
テーマ学習1 飲酒について考えよう	保健 (1)ーイ	(Activity)p. 4～7	
ケーススタディ 「No!」といえる自分になるためには？	保健 (1)ーイ	(Textbook)p. 34～35	
第5節 精神疾患の予防と回復	保健 (1)ーア－(オ)	(Textbook)p. 36～43	6
ケーススタディ どんなときにストレスを感じるだろう？	保健 (1)ーイ	(Textbook)p. 44～45	
第2章 安全な社会生活			4
第1節 安全な社会づくり	保健 (2)ーア－(ア)	(Textbook)p. 48～51	
テーマ学習2 地域の高齢者安全マップをつくろう	保健 (2)ーイ	(Activity)p. 10～13	
第2節 応急手当	保健 (2)ーア－(イ)	(Textbook)p. 52～57, 60～61	6
ケーススタディ 万一のときに対応できるようにするには？	保健 (2)ーイ	(Textbook)p. 58～59	
第3章 生涯を通じる健康			10
第1節 生涯の各段階における健康	保健 (3)ーア－(ア)	(Textbook)p. 64～73, 76～77	
ケーススタディ 子どもを健康に生み育てるためには？	保健 (3)ーイ	(Textbook)p. 74～75	
テーマ学習3 人工妊娠中絶について考えてみよう	保健 (3)ーイ	(Activity)p. 16～19	
第2節 労働と健康	保健 (3)ーア－(イ)	(Textbook)p. 78～83	7
ケーススタディ 健康で充実した労働環境をつくるには？	保健 (3)ーイ	(Textbook)p. 84～85	
テーマ学習4 労働災害防止のためにできること	保健 (3)ーイ	(Activity)p. 20～23	
第4章 健康を支える環境づくり			10
第1節 環境・食品と健康	保健 (4)ーア－(ア) (イ)	(Textbook)p. 88～97, 100～101	

ケーススタディ ごみが環境を破壊する？	保健 (4)ーイ	(Textbook)p. 98～99	
テーマ学習5 環境のために私たちができること	保健 (4)ーイ	(Activity)p. 26～29	
テーマ学習6 保健体育で学んだこととSDGs	保健 (4)ーイ	(Activity)p. 30～33	
第2節 保健・医療制度と機関	保健 (4)ーアー(ウ) (エ) (オ)	(Textbook)p. 102～105, 108～115	8
ケーススタディ なぜ献血・臓器移植が必要なのだろう？	保健 (4)ーイ	(Textbook)p. 106～107	
第5章 スポーツの文化的特性と現代スポーツの発展	体育 体育理論 (1)ーアー(ア) (イ) (ウ) (エ)	(Textbook)p. 124～133	6
ケーススタディ 現代スポーツの意義や価値は何だろうか？	体育 体育理論 (1)ーイ, ウ	(Textbook)p. 134～135	
テーマ学習7 アンチ・ドーピングについて考えよう	体育 体育理論 (1)ーイ, ウ	(Activity)p. 36～39	
第6章 運動やスポーツの効果的な学習方法	体育 体育理論 (2)ーアー(ア) (イ) (ウ) (エ)	(Textbook)p. 138～153	6
ケーススタディ トレーニングのやり方の極意は？	体育 体育理論 (2)ーイ, ウ	(Textbook)p. 154～155	
テーマ学習8 運動を安全におこなうために	体育 体育理論 (2)ーイ, ウ	(Activity)p. 42～45	
第7章 豊かなスポーツライフの設計	体育 体育理論 (3)ーアー(ア) (イ) (ウ) (エ)	(Textbook)p. 156～163	6
ケーススタディ スポーツボランティアに参加するには？	体育 体育理論 (3)ーイ, ウ	(Textbook)p. 164～165	
テーマ学習9 スポーツを生涯にわたって楽しむ工夫	体育 体育理論 (3)ーイ, ウ	(Activity)p. 48～51	
テーマ学習10 スポーツライフを設計しよう	体育 体育理論 (3)ーイ, ウ	(Activity)p. 52～56	
		計	88

(注1) 「保健」の配当授業時数は、年間授業時数を35単位時間として計算し、入学年次およびその次の年次の2年間にわたり履修することを想定した。

(注2) 「体育理論」の配当授業時数は、年間授業時数を6単位時間として計算し、3年間にわたり履修することを想定した。